

平成25年第1回議会定例会（施政方針・当初予算）

平成25年度の施政方針、並びに当初予算について申し上げます。

（施政方針）

平成25年度は、平成23年度から27年度までの第4次総合計画後期基本計画の中間年であり、第1次実施計画から第2次実施計画へ繋げる重要な年度であるとともに、千葉ニュータウン事業の収束を迎える大きな節目の年度でもあります。

千葉ニュータウン事業は、昭和44年度に新住宅市街地開発法の適用を受け、首都圏における住宅需要を計画的に受け入れるとともに、長期的な宅地需要の安定に資するため、居住環境の良好な住宅用地及び業務用地などを計画的に供給し、北総地域の中核的な拠点都市づくりを目指して進められた事業であり、本市発展の礎を築いた事業でございます。

平成26年3月末での収束を迎えるにあたり、北環状線の整備、白井総合公園の整備など、未だ完成を見ない事業がありますが、早期の完成を強く求めてまいりますとともに、調和の取れた収束に向けて関係機関に要請してまいります。

今後につきましては、まちづくりや土地利用などへの取り組みを成熟させていく転換期であり、より一層、主体的に努力してまいりたいと考えているところでございます。

私は、市長就任以来、市民との対話をモットーに現場主義を常に意識し、皆様とともに一つ一つ丁寧に課題解決に向けた市政運営を推進して

おりますが、本市の財政状況は依然として厳しく、歳入の根幹である市税の伸びが期待できない中で、制度改革や高齢化の進展などに伴う扶助費などの義務的経費は増加の傾向にあり硬直化が懸念されているところでもございます。

このような中、今後も行政改革を着実に進め、財政を健全に維持し効率的で将来にわたり持続可能な行政運営により一層努めるとともに、後期基本計画で示しています「安心して子育てできるまち」「安心して暮らせるまち」「健康で暮らせるまち」「元気に活躍できるまち」「みどり豊かで快適なまち」の実現に向けて、市民の皆様とともに「住んでよかった」「住み続けたい」と実感できる、希望の持てるまちづくりを目指してまいりますので、引き続き、議員の皆様はもとより市民の皆様のご理解とご協力をお願いするものでございます。

（当初予算）

次に当初予算について申し上げます。

平成25年度の当初予算につきましては、編成方針としてお示したとおり第4次総合計画・後期本計画に基づく実施計画事業の着実な推進を基本としたところですが、昨年11月に政府による一般会計の予備費を利用した経済危機対応・地域活性化の財政措置がされ、また、12月には衆議院議員選挙が行われ政権交代がなされ、新たに日本経済再生に向けた緊急経済対策の概要が示されるなどの状況の変化に対応して、予算編成を行ったところでございます。

平成25年度に計画しておりました清水口小学校体育館及び大山口中学校体育館の耐震・大規模改修工事につきましては、昨年11月の予備費よる財政措置により、前倒しをして実施するため、今定例会に提案しております平成24年度一般会計補正予算第6号において、2億7千406万2千円を計上したところであり、また、現在、国会において審議が行われている第1号補正予算への対応については、新たな予算措置が行われ次第、市においても新たに追加補正予算の計上を検討しているところでございます。

このようなことから、平成25年度当初予算規模につきましては、一般会計が169億6千511万7千円で、前年度比4.1%の増となりました。

一般会計と5つの特別会計を合わせた総額では、274億1千358万5千円で、前年度比4.6%の増となりました。

水道事業会計は、収益的支出と資本的支出の合計で、5億272万6千円で、前年度比3.1%の減となりました。

平成25年度の重点事業につきましては、予算編成方針でその選定方針を定めているところであり、平成25年度は、主に「子育て支援の拡充」、「高齢化社会に向けた健康の維持増進や介護事業の推進」、「防災資機材の備蓄の拡大や避難所機能の充実による防災機能の強化」、「地域コミュニティの活性化や市民との協働による防犯・防災活動などの拡大」、「市内事業者の活性化策の拡充による産業の振興」などに取り組み、市民福祉の向上と本市の活性化を図ることとし、24事業を選定したところでございます。

また、当初予算の概要に掲載しております主要事業につきましては、平成25年度の重点事業のほかに、さらに各部等で主要事業として予算計上した9事業を加えた33事業を選定したところでございます。

平成25年度当初予算に盛り込んだ主要事業について、後期基本計画の各章に沿って説明いたしますと

「第1章 安心して子育てできるまちを築く」では、小学校6年生までの入院費、通院費、調剤費を、また、中学生まで入院費を助成する「子ども医療費助成事業」

白井第一小学校校舎耐震補強工事等の実施設計及び南山小学校校舎耐震補強工事等の基本設計、並びに七次台小学校校舎老朽化改修工事等を行う「小学校施設改修事業」

南山中学校校舎耐震補強工事等の基本設計を行う「中学校施設改修事業」

学校給食共同調理場の耐震強度不足及び老朽化に伴う建替え方法の検討及び基本計画の作成を行う「学校給食共同調理場老朽化対策事業」

続いて、「第2章 安心して暮らせるまちを築く」では、現庁舎の耐震性能の不足及び老朽化等の問題に対応するため、整備の基本計画策定及び基本設計等を行う「市役所庁舎整備事業」

防災アセスメント調査の結果を踏まえ、地域防災計画を総合的に見直し、より実効性のある計画を策定するとともに、避難所となる小学校へ耐震性非常用井戸の整備を計画的に行い、また、新規指定避難所への防災倉庫の設置及び防災資機材の配置を行う「地域防災計画推進事業」

青色回転灯車両の貸出し、市民協働による地域住民パトロールの体制づくりを推進する「防犯対策事業」

精神障害者の日常生活能力を向上するための支援や日常生活上の相談支援を実施する自立訓練施設を誘致により整備するため建設費用の一部を助成する「障害福祉サービス事業」

第5期介護保険事業計画に基づき、介護老人福祉施設の整備を公募により誘致し、必要に応じて特別養護老人ホーム施設整備費等の補助金の交付を行う「介護老人施設整備補助事業」

地域福祉計画に基づき地域福祉の推進の体制基盤づくりのため、地域の課題や福祉ニーズを受け止め、その解決に向けての取り組みをコーディネートする職員の育成を進める「地域福祉計画推進事業」

続いて、「第3章 健康で暮らせるまちを築く」では、

感染症予防を推進するため、これまで実施している子宮頸がんワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、H i bワクチンの接種費用助成のほか、65歳以上の高齢者が肺炎球菌ワクチンの予防接種を受ける際にも費用の一部を助成する「感染症予防事業」

40歳以上の国民健康保険加入者を対象に行う特定健康診査において、受診率向上に向け、受診しやすい体制整備を図るため、自己負担金を無料にするとともに、また、腎疾患に関する予防対策を強化するため、特定健康診査の検査項目に血清クレアチニン検査を加え実施する「特定健康診査事業」

特定健診会場において特定保健指導の初回面接を実施することにより、保健指導を受けやすい体制を整備し、生活習慣の改善やメタボリックシンドロームの予防につなげる「特定保健指導事業」

続いて、「第4章 元気に活躍できるまちを築く」では、小学校区内の連帯意識や自治意識の向上を目指し、地域住民のコミュニティ組織の構築及び地域の課題解決のための主体的なまちづくり活動を支援することを目的として、小学校区単位の自治組織の連合体に対して補助を行う「地域活性化推進事業」

中木戸テニスコートの経年劣化に対応するため改修工事を行う「社会体育施設管理運営事業」

本市特産の梨について、近年、降雹等による被害が多発していることから、未然に被害を防ぐため、多目的防災網の張り替え経費に対し補助を行う「農業生産技術・経営改善支援事業」

農産物の付加価値を高めブランド強化を図るため、市場等における消費宣伝活動の実施やチラシ・ポスターをはじめとした販売促進用資材を

作成し、生産者等による国内での販路拡大・販売促進活動に対する支援及び、梨の国外の販路拡大活動に対する支援を推進し、また、白井産梨のブランド化の方針を明確にするため、梨業組合やJ A、農業事務所等との連携を強化し、新たな生産販売振興策を推進する「農産物ブランド化推進事業」

（仮称）白井市産業振興条例の実効性を確保するため、市の附属機関として学識経験者、産業経済団体、事業者、市民等で構成する組織を設置し、産業振興の推進を図り、また、県内の大学等研究機関との交流・連携の推進を図り、産学連携のコーディネートを促進する「中小企業活性化支援事業」

市内経済の活性化及び市民の利便性向上のために、商工会が実施する暮らしなんでもお助け隊事業に補助を行う「商工会活動支援事業」

工業団地における企業誘致や既存企業の活性化を図るため、工業団地へのアクセス道路の整備に向け、関係機関との協議を進め、道路法に基づく計画決定を行う「工業団地アクセス道路整備事業」

続いて、「第5章 みどり豊かで快適なまちを築く」では、地球温暖化防止対策の一環として、市民自らが環境への負荷の低減に資する再生可能エネルギー等の利用促進を図るため、太陽光発電システム及び高効率給湯器を設置した市民に対し、設置費の一部を補助する、さらに、太陽光発電システムの設置に関しては、市内産業の振興のため、市内事業者による設置の場合、補助額を拡大する「省資源・省エネルギー

一推進事業」

市道 00-001 号線他、破損の著しい舗装及び排水施設などの補修を行う、また、がけ地保護及び道路保護のため、急傾斜地崩壊危険区域に指定された斜面地の保護工事を行う「市道維持修繕事業」

安全で円滑な道路交通を確保するため、市道 00-139 号線他、幹線市道の整備及び一般市道の拡幅等の改良や必要性の高い未舗装道路の舗装を行う「市道新設改良事業」

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、今井橋他の修繕工事の設計業務を行う「橋梁維持事業」

水路機能の確保及び幹線市道等の改良事業を進めるために道路排水流末となる水路改修の測量設計と水路改修工事を行う「水路維持改修事業」

下水を処理施設へ送る七次中継ポンプ場の耐震診断及び設備の老朽化から平成 26 年度までに耐震構造による建て替えを行う「七次中継ポンプ場更新事業」

白井地区の一部に雨水管渠の整備を行うとともに富士地区の事業認可に向けた整備計画を策定する「雨水排水施設整備事業」

続いて、「第3編 計画を推進するために」では、

事業の必要性や実施主体のあり方などについて、公開の場で外部の視点による公平・客観的な評価を行う事業仕分けを実施することで、事業の目的や本質を明確化し、さらなる行政改革の推進、市民への説明責任の徹底、職員の意識改革を図るため、実施計画事業を対象に実施する「事業仕分け事業」

市ホームページを平成26年度に更新するため、現在のホームページの課題の洗い出しや次期ホームページの仕様を作成する「情報システムによる情報提供事業」

新たに策定した市民参加・協働のまちづくりプランに基づき、市と市民の協働を推進するためのスタートとして、市民を対象とした市民活動コーディネーター養成講座及び職員を対象としたファシリテーション職員研修を実施する「市民参加・協働のまちづくりプラン推進事業」

最後に、「実施計画事業以外の事業」といたしまして、

除染実施計画に基づき、保育園、幼稚園、小中学校、公園等の公共施設や戸建て住宅、集合住宅等の除染対策を進めるとともに、活動資機材の貸与等、市民の除染活動を支援し、また、農産物や給食食材等の放射性物質検査を進めるとともに、放射線による健康への影響に関する講演会を開催するなど一連の放射能対策事業を効率的に進め、市民の安全・安心を確保する「放射能対策事業」

住宅関連産業を中心とする市内産業の活性化、雇用の創出を図るため、平成24年度から26年度までの間、市内事業者により住宅リフォームを行ったものに対し、費用の一部を助成する「住宅リフォーム助成事業」

学校図書館を各教科等での学習に活用したり、学んだことを確かめたり、資料を集めて自分の考えをまとめて発表するなど主体的な学習活動を支援するために機能させるとともに、教員をサポートしながら教育活動を行える読書活動推進補助教員を配置する「学校図書館運営に要する経費」を主要事業として実施してまいります。

以上、施政方針並びに当初予算について説明させていただきましたが、そのほか各種事務事業を積極的に推進し、「市民と築く安心で健康なまち しろい」の実現に向けて、全力を尽くしてまいります。